

期末試験時での学生諸君の感想文について

期末試験時に、授業や演習についての忌憚のない感想（悪口こそ歓迎、勿論老人を元気付けてくれるのも大いに結構）を書いてくれると、いざと言う場合の下支えになる（例えば、総点が55点のとき感想があれば授業に対する積極的な貢献と見なす）と示唆したところ多くの感想が集まった。

=====

感想に対する対処：

教室については、後学期はあまり縦長でない南5号館 S511 に変更する予定である。但し、収容人員は80名ということで履修申請者全員は収容し切れないし、黒板が極めて小さいので、予習分の講義録の持参が重要になろう。

易しい例題を講義中にもやって見せて欲しいという要望については、要望にそえるようにするつもりである。結果として講義内容の量に幾分の変更があり得る。

後学期には、積分論（広義積分と重積分）の後に待ち焦がれていた「論理的」な部分、 $\epsilon - N$ 論法と $\epsilon - \delta$ 論法が示され、前期からの懸案事項のいくつかの説明が与えられるのみならず、級数論が少々説明され、そこで初めて $e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$ の証明が与えられる。

早口とか板書についての要望は、思い通りにはならないだろう。早口は心臓の鼓動と同様に固有のスピードがあるので意識していてもすぐに元に戻ってしまうからで、そのたび毎に質問をして内容を確認して欲しい。板書については、黒板が極めて小さくなるので、あまり書けなくなると思われる。そもそも講義録を用意しているのは、「板書をノートに写すことに追われて、その場で理解するという努力が妨げられる」ことを無くすためである。しかし、ノートを取らないと眠くなる人や、学生として「仕事はノートとりである」との思い込みが有り過ぎる。講義録予定を持参し、それにメモとして書き加え、更に、講義録として出たものにそのメモに相当する部分がなかったら、講義録にそのメモの部分を張り付けるようにすれば、いつの間にか予習、復習ができてしまうのだが？

質問を授業中にするのは躊躇されることもあろうが、前から言っているように、誰かの質問で「あっ、分かった」と言う人も多い。「質問は自分の為だけならず」である。質問を一番後ろから大きな声でするのは気が引けるだろうから、どうせ授業に出て聞かならば、前に座ってそこで理解しようとし、それ故に質問すれば少しは「やった」気がしてくるものでは。

表 1: V 類 T 組 微分積分学第 I 期末試験感想 1 (2005-07-28)

講義等への要望、感想等
大学の数学は苦手です。勉強時間を費やしてもなかなか結果が出ませんでした。もう3年なので、さすがに単位がほしいです。今回は今までで一番頑張りました。あと気づいたこととして先生が僕の中学校の友達と同姓同名でした
今回のテストはとてもむずかしくあまりできなかったと思うが自分なりにいろいろ頭も使ったためそでもつかれた。はじめ3時間はとても長いと思ったが、ゆっくり考えていたためか、最後は時間が足りなく [3]、[4] があまり考える時間がなかったのが残念だった。単位を下さい
クラスの人数が多すぎる。できれば少人数のクラスで授業を受けたいです。微積は勉強不足でした。夏休みに少し復習しようかと思っています
とても難しかったです。まじで単位ください!!
期末テストもかなり難しかったです。範囲も広がったし、問題とちゅうでわかんなくなって終わらしたのがけっこうあるんで、部分点だけでも下さい! [1] は酷かと...
期末はかなりハードに思えた。出来そうで出来ない問題があった。誤差の評価の仕方を忘れてしまったので残念。[5] は正しい答を出せたのかよくわからない

表 2: V 類 S 組 微分積分学第 I 期末試験感想 2 (2005-07-28)

講義等への要望、感想等
教室が良くなることを願っています。3時間テストはつらいのでやめてほしい、座っているだけでも疲れる
微分方程式がノーマークだったのであせりました。出るとは聞いていましたが。授業は一応統べて出席してましたが。最後の補講だけサボりました。すみません。演習の方の期末もさんざんだったので、きっと単位はヤバイと思います。 普通の授業の感想として。とりあえず数学は自分の手でやらなければ意味がないことを再確認できてよかったです。というか授業が理解しにくいので自分で図書館などで調べなければならぬから。 中間・期末試験は楽しい問題でよかったです
講義記録の HP に、せまい部屋にするとのが書いてあったが、せまければよいというわけではなく、たて長の教室だと黒板が見づらいというだけです。広くてもよこに広いのならかまわないのですが。とは言っても、狭かったらそれはそれで見やすいからよいのですが
1、3(b) は手のつけどころがサッパリ。2 はイケルと思いきや計算がなんか大変。5 は昔自分でやっていたので少しは光はあった。全体的にやっぱりムズカシメ。...この出来だと単位欲しいと言うのは無茶苦茶かもしれない。 授業は井上先生の雑談は結構好きです。Web の中間感想を見ると賛否両論だが、あって良いと思う。あと、黒板の見えにくさ(前の人の頭がジャマ)は結構マイナスだった(暗い)ので W531 のような教室だとありがたかった。 Web の資料はとても助かる存在でしたが、もう少し要点がまとまっていると尚使いやすい。あとささいなことですが Web ページでちゃんとデータがあるのかリンク切れしているのかはわかるようにしておいてほしいです。ジャンプして「404error」は悲しい...ので
15 分前になったのでそろそろ感想を書きます。先生のホームページで過去の感想をみせてもらいましたが、人それぞれやっぱりちがいますね。先生の授業については友達ともたまに話すことがあります。数学を「解く」というより「説く」みたいだという意見が出ました。それについてはとても悦ばしいことだと思います。今まで高校などでは単に大学に入るためには解いていましたが、先生の授業ではその先の結びつきについて教えてくれることがあり、やる意味を感じ取ることができます。ですが、そればかりではやはり大学とうこともあり高校とは比べほどなくなるくらい難しいので力をつけるために問題を解いてある程度慣れさせる時間をつくってもらえるといいと思いました。期末が7月の下旬という日程は助かりました。普段は他の授業やレポートもしなければならず難しい微積に割り当てる時間がほとんどなかったからです。その意味を込めても授業中に 2,3 題解かせるようにしてもらいたいです。授業録というもので予復習させる設定は初めてでしたがとても使いやすいものだと思います。ただし、内容は難しくてやはり文の羅列ではわからない部分も多々ありますが...。また。質問を受けつけてくれるのもとても活用できるもので、まだ使ったことはありませんが必要だと思います。前期のできはいまひとつでしたが、後期もまたよろしく願います
多分ボーダー付近なので感想を書きます。講義録や授業に関しては中間試験のみ皆さんの意見とほぼ同じなので省略させていただきます。テストについて。 1 ...こういった種の問題は勉強不足でした。なにを $f(x)$ と置きなを a とすれば良いのかわかりません。 2 ...連立方程式の解が他にないか不安です。 3 ...定積分の定義?? 高校までの区分求積法の知識で解きました。 4 ...ヒントがあって助かりました。 5 ...得点できるはず。絶対値の外し方が微妙ですが「定数が符号も含んでいるはず」と思って計算を進めました。 前期は後半から出なくなったので、後期はしっかり出ようと思います
先生、ぼくはこのもんだいを ($D = 0$ のとき) せつめいしてほしいです。Website でおねがいします。(I hope I can see your explanation about this problem on your website later. Anyway, I love the way you are teaching us) Thank you very much!

表 3: V 類 S 組 微分積分学第 I 期末試験感想 3 (2005-07-28)

<p>講義等への要望、感想等</p>
<p>(数学という授業について)正直に言うと私は数学はあまり好きではないです。むしろ嫌いです。この大学に入るために数学を頑張ったが、本当に苦痛でした。</p> <p>私が数学が嫌いな理由は次の通りです。まず、数学には現象がともなわないことです。物理や化学には現象があり、実際問題として考えられます。確かに数学も、式の意味は平面を表したり、面積を表したりするが、いまいちピンとこないし、理科ほど興味がわきません。</p> <p>私の数学に対するイメージというのは式をいじることです。微分方程式がその代表的な例だと思います。どういじったら x の関数が求まるのか、そればかりです。そのどういじりか技術(センス)があまり好きではありません。</p> <p>今やっている物理の力学は、ほとんどが微分方程式を解きます。でも、力学の微分方程式には明らかな現象もあれば、物体の運動を求めるという明確な目的があります。だから、同じ微分方程式でも、力学の微分方程式の方が目的や現象があり、パターンで解けます。数学だけのとはちょっと感覚が違うと思うのです。でも、今まで出会ってきた先生や教授が言う、「数学は全ての基礎である」ということも正しいと思います。上の微分方程式の例がそうだと思います。物理や自然科学といった分野を考える時、現象の次に決まって数式がきます。だから、数学に対しては、これからも嫌いながらとりくまなければいけないと思います。数学の知識を問われる問題に出会ったときに、教科書のあの部分をみればわかる、ぐらいのレベルにはしようと自分で決めています。</p> <p>1 学期の微積の授業を終えて、教科書をみずに、自力で解けない問題がある程度あると思うが、一巡りの内容は雰囲気としてあると思います</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎度授業と演習の進行が違い、毎週のレポートは苦労しました。 ・ 微積講義は、Web に講義録を載せている点はよかったが、授業に関しては正直眠かったです。あと何が重要な点であるかもわかりづらかったのは問題だと思いました。要点をはっきりさせた授業の方がよりわかりやすかったと思いました。 ・ 演習は毎度授業がのびすぎているのが問題だと思いました。毎度略解をのせているのだから、板書を途中でやめて時間通りに終わらせようという姿勢を見せてほしかったです。 ・ 毎週課題がでるのは、授業でやったことを身につけるにはいいことだと思いました。
<p>上に公開している講義録が大変重宝している。今回のテストの範囲の講義録は教科書の例の詳細な解き方や別解も示してあったので、テスト勉強をする上でかなり役にたった。授業中に理解できなかった部分もあとで講義録を見たら理解することができたこともあった。非常に便利なので後期も続けて欲しい</p>
<p>とても、とてもムズかしい試験でした。演習と合わせて評価するのはいかなものかと…。中間 20 点+演習 30 点+期末 50 点=100 点とおっしゃっていましたが、演習の中にレポート課題は点数として含まれていないのですか？だとすると少し悲しいです。後期からは数演をなるべく延長しないで下さい。くわしい解答(手書きでもいので)を下さい。</p> <p>病気の方が、検査ミスだということで、安心しました。単位がくるといいなあ…。あっすません、独り言です</p>
<p>メールで失礼致します。授業については、やはり映像設備(?)使わないほうがテンポよく進むので良いと思います。小さい教室に賛成! 今回のテストは3時間だと聞いてどんな問題が出るのかひやひやしましたが意外と計算が多くてよかったような悪かったような...そんな感じです。時間については、自分としては計算に時間がかかるので短いよりは長いほうがいいですね。と言いつつ出来はボーダーギリギリな気がしますが。そういうわけなので、単位をぜひぜひよろしく願いいたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> (i) Web にあるテキストを中心にじゅぎょうをしてほしいです。 (ii) せんせいの日本語は外国人としてすこしむずかしいです。すこしゆっくり、話のさいごをはっきり言ってほしいです。 (iii) じゅぎょう中にあまりかんけいのない話にとばないでほしいです。 (iv) ぜんきのじゅぎょう中に先生はびょうきにかかりましたが、大丈夫だと言ってさいごまでじゅぎょうをやってくれた先生のせいしんりょくをそんけいします

表 4: V 類 S 組 微分積分学第 I 期末試験感想 4 (2005-07-28)

講義等への要望、感想等
自分は解くのが遅く、それで物理 2 時間、化学 2 時間と試験時間が長い東工大をえらんだのですが（もちろん大学としてもみりょくてきでした）、今回のテストのようにゆったりと解けると、できてもできなくても楽しかったです。また機会があれば長時間のテストでおねがいします
授業では話が脱線することが多く、時間ももったいなかったように思う。また黒板をテレビにうつそうとする行動に手間どって授業が進んでいなかった。しかしホームページ上にのっている講義録は非常に役立った。きちんとかかれてあり、自分で勉強するときに役立った。演習に関してはレポート課題や、小テストは毎回レベルが高く、学力がのびていったと思う。しかし、TA の授業の進め方が悪く毎回 30 分も授業を延長されたので迷惑だった。最後に、今度から部屋を狭くすると言われていたことに僕は賛成です。広いからテレビに映す必要がでてきたりしてよけいな時間をつかうので、全員が座ることができなくても、小さい部屋でやって欲しいと思います
授業で関数を扱うときに抽象的な関数ばかりでなく、具体的な関数でもやってほしいです
宿題のようなものがあると個人的には復習し易いと思います。演習が先行してしまっただけで復習にならなかった
授業では、 $\epsilon - \delta$ 論法は後期に行なうと言っていたのに、講義録では $\epsilon - \delta$ 論法のようなことを使っている部分があったと思う。そこで $\epsilon - \delta$ を使うなら、講義の方でもやってほしい。後期にまわすなら、前期の講義録で使わないでほしい。 また、授業と演習の進度で、演習の方が早いのがちょっと気になる。演習を先に予習としてやって、授業できちんと理解するというのもよいが、個人的には授業 → 演習の方がやりやすい。 教室について、たてに長いので、うしろにいる人は見えにくいと思う（僕はいつも前にいるが）。プラズマディスプレイも見やすいとは言えないし、カメラを動かすたびに授業がとぎれる…。人数が多いから、しかたないと思うけど。
演習、講義はどちらも授業内容がテストに活かされていないと思う
<ul style="list-style-type: none"> ・井上先生の授業を受けてみて、高校までの数学とのレベルの違いを十分に感じました。高校の時から数学が苦手だったので非常に大変でした。 ・講義録があることは非常にいいのですが、授業で解説していない部分を自習しようと思っても、複雑な記号が出てきてなかなか進みませんでした。あと講義録の終わりに練習問題とその解答を載せてもらえるとうり勉強がしやすいと思います。 ・今回の期末テストは、時間はたくさんあったのですが、「積分の定義にそって」がよく分かりませんでした
先生、ぼくはこのもんだいを ($D = 0$ のとき) せつめいしてほしいです。Website でおねがいします。(I hope I can see your explanation about this problem on your website later. Anyway, I love the way you are teaching us) Thank you very much!
<p>テストについて。 [2] の $D(x, y) = 0$ になるときのがわからなかった。あとは、[3] の (b) がすっげーめんどかった。全体的には、『答出たけどあってるかどうかわかんねー!!』ってかんじ。</p> <p>授業について。寝てないところはそれなりに聞いててわかったのだけっこう有意義でした。前の席をとってたから、見にくいとかはなかった。</p> <p>演習について。指名する学生をあらかじめ決めておいて、レポートをくばっている間に書かせるなどをして時間短縮をはかってほしい。</p> <p>テストに一言。...「テスト用紙を切りはなさないように」...無理でした。</p>
ガン細胞が見つからなくてよかったですね。最近の授業はなんか分りやすくなっていい感じです。まあ、雑談はなくてもいいかも。後期の教室についてだが、階段式の方が僕としては良いです。黒板が見やすいから
授業でやっている問題のムズカシさと比べてつらい
難しい、難しい、難しい、(たぶん)人間が解ける問題ではないかと、去年と比べてめ〜〜ちゃくちゃレベル上がりすぎです。もう少し慈悲を...